

イエス、祈る

シリーズ～新イエス～

2025/9/21

イエスが「祈った」記録

① ご自身が洗礼を受けた時

「民衆が皆洗礼を受け、イエスも洗礼を受けて祈って
おられると、天が開け」(ルカ3:21)

② 一人で静かなところで祈る

「群衆と別れてから、祈るために山へ行かれた。」
(マルコ6:46)

③ 主の祈り(を教えた時)

「イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、
弟子の一人がイエスに、『主よ、ヨハネが弟子たち
に教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください』
と言った。…『祈るときは～』」(ルカ11:1～)

イエスが「祈った」記録

④ 最後の晩餐(過越祭)

「また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。」(マタイ14:19)

⑤ 子どもたちのために祈る

「そのとき、イエスに手を置いて祈っていただくために、人々が子供たちを連れて来た。」(マタイ19:13)

⑥ 変貌山

「イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。」(ルカ9:28～)

イエスが「祈った」記録

⑦「大祭司の祈り」

「イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。」(ヨハネ17章)

⑧ ゲツセマネの祈り

「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」(マタイ26:39)

⑨ 十字架上の祈り(叫び)

「三時にイエスは大声で叫ばれた。『エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。』これは、『わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか』という意味である。」(マルコ15:34～)

イエスはなぜ祈ったのか？

- 「神の子」であり「人となられた神」であったのだから、祈る必要などなかったのではないか？
 - 祈りとは神にささげるもの
- 「祈り」はイエスが完全に人となられた証拠
 - 「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。」フィリピ²：6－7
- 神のもとを離れたからこそ祈らずにはいられなかった！
 - 祈りだけが父との唯一のコミュニケーションだった

常に祈っていたイエス

•一人で静かなところで祈る

- 「群衆を解散させてから、祈るためにひとり山にお登りになった。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。」(14:23)
- 「だが、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。」(ルカ5:16)
- 「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。」(6:12) > 使徒の指名

•父なる神との二人だけの交わりの時

- 誰にも邪魔されない時と場所を選ばれた
- 祈る姿はイエスと父との親しさの象徴だった

イエスが教えた祈り

- 主なる神を「父(アッバ)」と呼ぶ

- 「天におられるわたしたちの父よ」(主の祈り)

- 「**アッバ**、父よ、あなたは何でもおできになります。」(マルコ14:36)

- 誰かに聞かせるためではなく

- 「あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。」(マタイ6:6)

- 父の願い(御心)に合わせる

- 「しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」「御心が行われますように」

大祭司の祈り(ヨハネ17章)

- 永遠の命を与えるために「栄光を与えて下さい」(1, 5)
 - ここで言う「栄光」とは十字架と復活のこと
- 「御名によって守ってください」(11)
- 「真理によって、彼らを聖なる者としてください」(17)
- 「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください」(21)

最後の祈りは届かなかった！

- 祈りに応えられた父

- 「『あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者』という声が、天から聞こえた。」(ルカ3:22)
- 「すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになった。」(マタイ14:20)

- 分かっていた事ではあったが、十字架上でイエスは父に見捨てられた

わたしたちが見捨てられないために、
イエスは唯一人父に見捨てられた！